

I. 広東省

1. 第13回中国国際中小企業博覧会（中博会）の開催

●9日午後、朱小丹・省長が、中博会に出席するため広州市を訪れたコートジボワール国家企業・手工業・中小企業振興相、インド中小零細企業相率いる政府代表団とそれぞれ会談。同日晚、袁宝成・副省長主宰のレセプションが行われ、朱小丹・省長が挨拶。辛斌国・工業・情報化部副部長、王江平・国家工商総局副局長も出席（10月10日付『南方日報』）。

●10日午後、胡春華・省党書記がコートジボワール国家企業・手工業・中小企業振興相、インド中小零細企業相とそれぞれ会談。辛国斌・工業・情報化部副部長、王江平・国家工商総局副局長、鄒銘・省党秘書長、袁宝成・副省長等も会談に同席（10月11日付『南方日報』）。

2. 省党理論学習グループが学習会を開催

●11日午後、胡春華・省党書記主宰の上記学習会が開催され、『胡錦濤選集』について学んだ。学習会では朱小丹・省長、黄龍雲・省人代常務委員会主任、馬興瑞・深圳市党書記、黄先耀・省党紀律検査委員会書記、任学鋒・広州市党書記が学習・交流・発言を行なった（10月12日付『南方日報』）。

3. 省党委員会指導グループによる改革の全面的な深化に関する第21回会議の開催

●11日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、中央指導グループによる改革の全面的な深化に関する第27回会議、習近平・総書記の重要講話の精神を伝達・学習し、次の業務を手配（10月12日付『南方日報』）。

4. 李克強・総理が深圳市、東莞市を訪問

●12日～13日、李克強・総理が胡春華・省党書記、朱小丹・省長に伴われ、深圳市、東莞市を視察。深圳市では2016年全国「大衆による起業、万人によるイノベーション」イベント・ウィークを見学。楊晶・國務院秘書長、万鋼・科学技術部長も同行。12日午後、李総理は上記イベントのグローバル・起業家リーダー・フォーラムに出席（10月14日付『南方日報』）。

●12日午前、深圳湾の起業広場で、上記イベント・ウィークが開幕し、万鋼・科学部長、徐紹史・国家発展改革委員会主任、朱小丹・省長が開幕式に出席し挨拶。馬興瑞・市党書記が開幕式を主宰し、徐主任から許勤・市長に「イノベーション・チャイナ」の旗が手渡された（10月13日付『深圳特区報』）。

5. 朱小丹・省長がコスタ・ポルトガル首相と会談

●12日午前、深圳市で朱小丹・省長がコスタ・ポルトガル首相と会談し、双方は広東省と同国の友好交流・協力を更に強化することについて、深く意見交換を行なった（10月13日付『南方日報』）。

6. 2016年汎珠江デルタ・ハイレベル連絡会議の開催

●13日晚、上記会議に出席するため南昌市を訪れた朱小丹・広東省長が劉奇・江西省長と会談した。双方は交通インフラ施設のマッチングを強化すること、産業・金融協力を深めること、自然環境保護等の議題について深く検討した（10月14日付『南方日報』）。

●14日午前、劉奇・江西省長主宰の上記会議では、于偉国・福建省長による2015年連絡会議以降の進捗状況、李鋒・連絡会議秘書処秘書長による秘書処業務に関する報告、連絡会議制度の修正に関する説明を聴取（10月15日付『南方日報』）。

7. マカオ特別行政区立法会議員訪問団が広東省を訪問

●13日午後、賀一誠・マカオ立法会主席率いる上記訪問団が省人代常務委員会を訪問するとともに、省人代の予算監督業務について懇談・交流した。黄龍雲・省人代常務委員会主任が座談会に出席（10月14日付『南方日報』）。

8. 省党常務委員会会議の開催

●14日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、習近平・総書記が全国国有企業の党建設工作会議で述べた重要講話の精神を学習・貫徹し、李克強・総理が広東省視察時に述べた重要講話の精神を伝達・学習し、これらを貫徹・実行

するための意見について検討した（１０月１５日付『南方日報』）。

９．王栄・省政協主席が広州に帰着

●１４日、王栄・省政協主席がインドネシア、タイ、カンボジアの訪問を終え、広州に戻った。バリ州地方議会議長との間で「広東省政協とバリ州議会との友好協力に関する基本合意書」に署名した（１０月１５日付『南方日報』）。

１０．第１２０回広州交易会（広交会）が開幕

●１４日晚、広交会のレセプションが行われ、朱小丹・省長、鍾山・商務部国際貿易交渉代表兼副部長が出席し挨拶。何忠友・副省長が主宰（１０月１５日付『南方日報』）。

●１５日午前、広交会が正式に開幕。習近平・国家主席、李克強・総理が祝賀書簡を送り、鍾山・商務部副部長、任学鋒・市党書記が広州万宝（当館注：家電メーカー）等１３社のブースを見て回った。当日の来場者数はのべ１６．７万人だった（１０月１６日付『南方日報』、『広州日報』）。

Ⅱ．広州市

１．華人・華僑によるイノベーション・起業イベントの開催

●１１日～１２日、世界中の華人・華僑が広州のイノベーション・起業にフォーカスを当てたイベントが開催され、米国、英国、カナダ、豪州、シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、ドバイ、ブラジル、ハンガリー等から計５０名以上の来賓が出席。同イベントは華人・華僑が広州市のイノベーション・起業に参加するルートを拡大した。香港の世茂集団による広東・香港センター、シンガポールのRGEによるLNGクリーンエネルギー、シスコによるスマートシティ、「紫荊谷イノベーション・起業発展支援センター」等、多くの大型プロジェクトが秩序立てて進められている。１２日、任学鋒・市党書記が来賓と会談（１０月１２日、１３日付『広州日報』）。

２．任学鋒・市党書記が劉紹勇・東方航空集団総経理一行と会談

●１４日、任学鋒・市党書記が、東方航空株式会社広東支社のオープニング・セレモニーに出席するため広州市を訪れた劉紹勇・東方航空集団総経理一行と会談し、次のように述べた。東方航空集団は航空運輸における中国３大基幹集団の１つであり、広東支社の設立を機に、機体数と輸送力の投入を更に増加させ、航空路線を最適化し、航空産業の新業態を拡大し、広州国際航空ハブ建設のために力を捧げることを希望する。唐兵・副総経理、蔡朝林・副市長、張克俊・省空港集団董事長も同席（１０月１５日付『広州日報』）。

３．都市・自治体連合による第５回世界大会、及び都市リノベーション委員会特別シンポジウムの開催

●１２日～１５日、コロンビアの首都ボゴタ市で上記大会ならびにシンポジウムが開催された。併せて、第３回広州アワード（広州国際リノベーション・アワード）の第一次審査が行われ、その後に行われた特別シンポジウムで、同アワードにノミネートされた１５の都市が発表された。これは同アワード初となる国外での第一次審査である。この第一次審査の結果は同アワード審査委員会に提出され、本年１２月に広州市で最終的に５つの受賞都市が選出されることとなる。温国輝・市長が一団を率いて上記大会・シンポジウムに出席した（１０月１６日付『広州日報』）。

Ⅲ．深圳市

１．許勤・市長がカナダの賓客と会談

●９日午前、馬興瑞・市党書記の代理として、許勤・市長がカナダのニュー・ブランズウィック州知事一行と会談し、次のように述べた。国際友好都市等のプラットフォームを通じて、双方が経済・貿易、イノベーション、教育、文化、観光、農業等の分野における協力を絶えず強化し、両地域の人々にとって一層の幸福をつくり出し、経済・社会発展を促進していくことを期待する。在広州カナダ総領事、艾学峰・副市長も同席（１０月１０日付『深圳特区報』）。

２．『中直党建』に馬興瑞・市党書記の署名入り論文が掲載

●『中直党建』１０月号に、「全面的かつ厳格に党を治めていく責任を断固実行し、特区事業を発展させるために、強固な政治的保証を与える」と題した馬興瑞・市党書記の署名入り文章が掲載された（１０月１１日付『深圳特区報』）。

※『中直党建』：中央直属機関工作委員会が主管する雑誌で、「両学一做」といった党の組織にかかる論文を掲載している。

３．BYDがハンガリーに大型バスの製造工場を建設

●１１日、深圳の自動車企業BYDがハンガリー西北部のコマーロム市に大型バスの製造工場を建設し、双方はニュー

エネルギー分野での協力を強化していくと発表した。これは中国のニューエネルギー・ブランドが欧州へ投資し、建設する初の電気自動車工場であり、投資額は2,000万ユーロ、2017年第1四半期に製造開始予定。先行製品は主にゼロ・エミッションの純電動大型バスであり、工場には独自の研究・開発センターと電池テストセンターを設け、その後、電動トラック、電動フォークリフト、ソーラーエネルギー等、ニューエネルギーの付帯製品を生産していく計画（10月12日付『深圳特区報』）。

4. 米アップル社が深圳市にR&Dセンターを設立すると発表

●12日、米アップル社が来年、深圳にR&Dセンターを設立し、地場のパートナーや大学との関係を強化し、全国的な人材開発をサポートしていくこととなった（10月13日付『深圳特区報』）。

5. 市党常務委員会議の開催

●13日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、『胡錦濤選集』について学んだ（10月14日付『深圳特区報』）。